

平成 23 年度

# クリーン仙台推進員活動報告

ごみ集積所排出実態調査結果

仙台市環境局廃棄物管理課

# クリーン仙台推進員活動報告 ～ごみ集積所排出実態調査結果～

## 目的

クリーン仙台推進員の皆さまが地域の中で実際に活動していくうえで、自分たちの住む地域の「ごみ排出の実態」を把握することにより、地域における活動の方向性を探りながら、ごみ減量・リサイクルの推進、環境美化活動につながる手掛りとしていただくことを目的といたしました。また、町内会等の皆さまと一緒に活動していただくことで、地域における環境意識の高揚を図ることも目的といたしました。

## 調査員数及び調査力所数

クリーン仙台推進員 645 人、協力者 541 人、合わせて 1,186 人

## 調査日

平成 23 年 10 月で各クリーン仙台推進員が選定した日

## 調査場所

各クリーン仙台推進員が選定したごみ集積所 1,375 力所

## 調査内容

### ごみ集積所排出実態調査票

#### (1) 調査対象集積所の状況

集積所の現況や形状、利用者の世帯数及び地域性について記載を行なっていただきました。

#### (2) 家庭ごみの排出状況

ごみ袋の数の確認や、リサイクル可能な資源ごみの混入状況等の調査を行なっていただきました。

#### (3) プラスチック製容器包装の排出状況

ごみ袋の数の確認や、プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品や、汚れのひどいものの混入状況等の調査を行っていただきました。

#### (4) 缶・びん・ペットボトルの排出状況

フタ・ラベルがはずされているか、つぶされているか等の調査を行なっていただきました。

#### (5) 紙類定期回収の排出状況

種類ごとの分別状況や集積所ステッカーの貼付等の調査を行なっていただきました。

## 集計結果（まとめ）

今回の調査は、本市が今後ごみの分別・リサイクルを推進する上で、とても参考になる結果が得られました。皆さまからいただきました多くのご感想やご意見・ご要望等につきましては、今後、地域の方々と連携を図りながら、それぞれの課題の解決に向けて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

集計の結果から、ごみ集積所で使用している鳥獣被害対策（ネット等）を講じた状況や、家庭ごみ・プラスチック製容器包装の正しい指定袋を使用している割合等概ね良好な結果が報告されました。

また、缶・びん・ペットボトルや紙類の排出状況につきましても概ね良好な結果となりましたが、調査の内容によっては、昨年度までと比較してあまり改善されていないところもあり今後の課題と考えております。

なお、調査結果の詳細につきましては、以下 1～7 のとおりです。

### 1 調査概要

平成 23 年 10 月に排出状況を調査いただきました。家庭ごみは月 2 回以上、プラスチック製容器包装、缶・びん・ペットボトル及び紙類は月 1 回以上です。

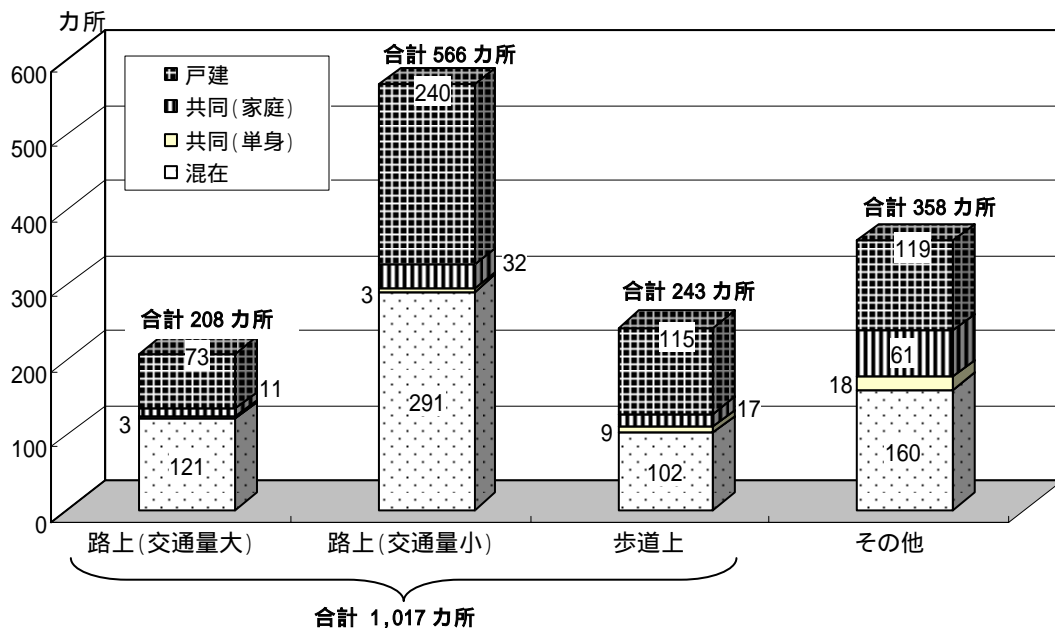
### 2 各区毎の調査員数および調査箇所数

行政区	調査員数			調査箇所数
	推進員	協力者	合計	
青葉区	163	151	314	363
宮城野区	105	95	200	215
若林区	79	42	121	154
太白区	176	148	324	362
泉区	122	105	227	281
合計	645	541	1,186	1,375

平成 22 年度は調査箇所数が 1,971 カ所でしたので、平成 23 年度はその約 70% となっております。

### 3 ごみ集積所の状況

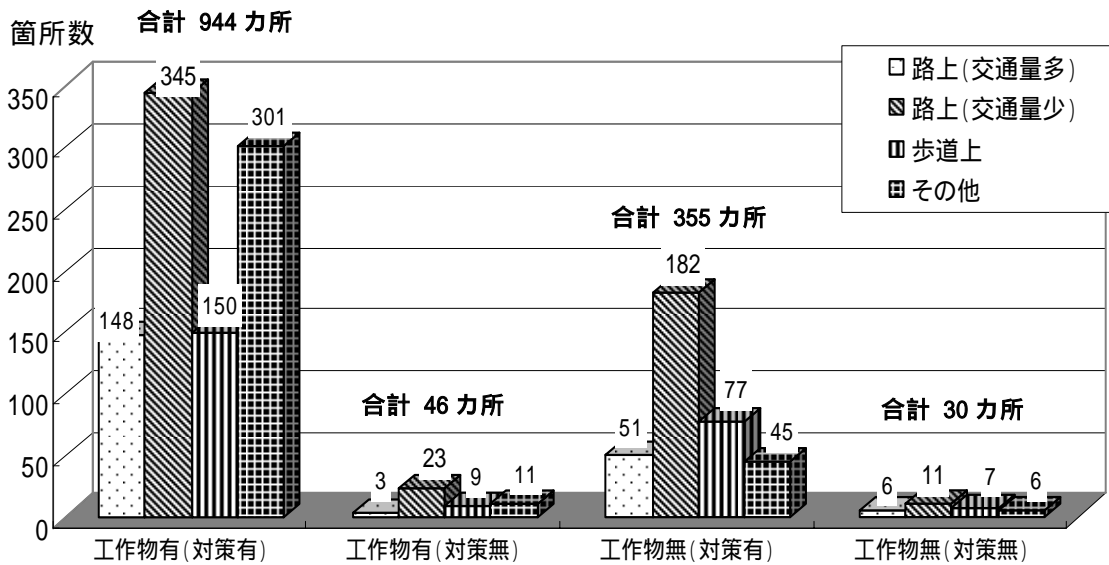
設置場所ごとの利用者の居住形態



これは、ごみ集積所の設置場所と利用者の居住形態について、設置場所ごとに居住形態を表したグラフです。調査した集積所のうち路上・歩道上に設置された所は合わせて 1,017 カ所あり、全体 1,375 カ所に対し 73.9% となっております。

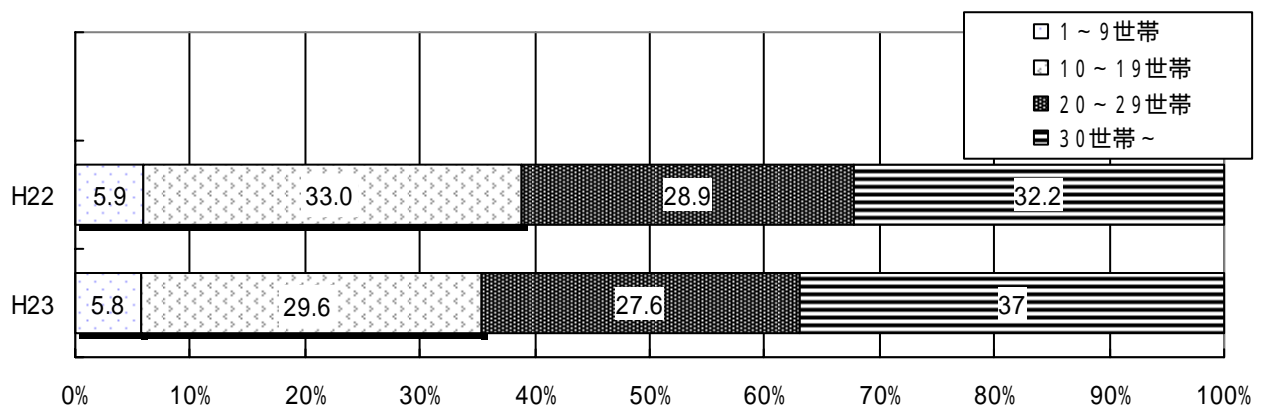
また、居住形態につきましては、戸建住宅にお住まいの方が利用されるごみ集積所は 547 カ所あり全体の 39.8% となっております。また、戸建と共同住宅が混在した地域にある集積所は 674 カ所あり全体の 49.0% となっております。

(2) 設置場所と鳥獣被害対策の実施状況



これは、設置場所の状況と鳥獣被害対策の形状についてのグラフです。今回の調査ではネット等による鳥獣被害対策がなされた集積所は「工作物有(対策有)」が944カ所、「工作物なし(対策有)」が355カ所、合わせて1,299カ所と全件の約94%となり、ほとんどの集積所は対策が講じられておりました。逆に工作物もなく対策も講じていない集積所は30カ所と、全体の約2%となりました。

(3) 利用者と利用世帯数



これは、集積所毎の利用世帯数についての割合を表したグラフです。調査対象の集積所を利用している世帯は、「1～9世帯」が5.8%、「10～19世帯」が29.6%、「20～29世帯」が27.6%、「30世帯以上」が37%となっており、全体の約65%は20世帯以上で利用する比較的排出量が多い集積所の調査となりました。この傾向は昨年と変わりませんでした。

#### 4 家庭ごみの排出状況

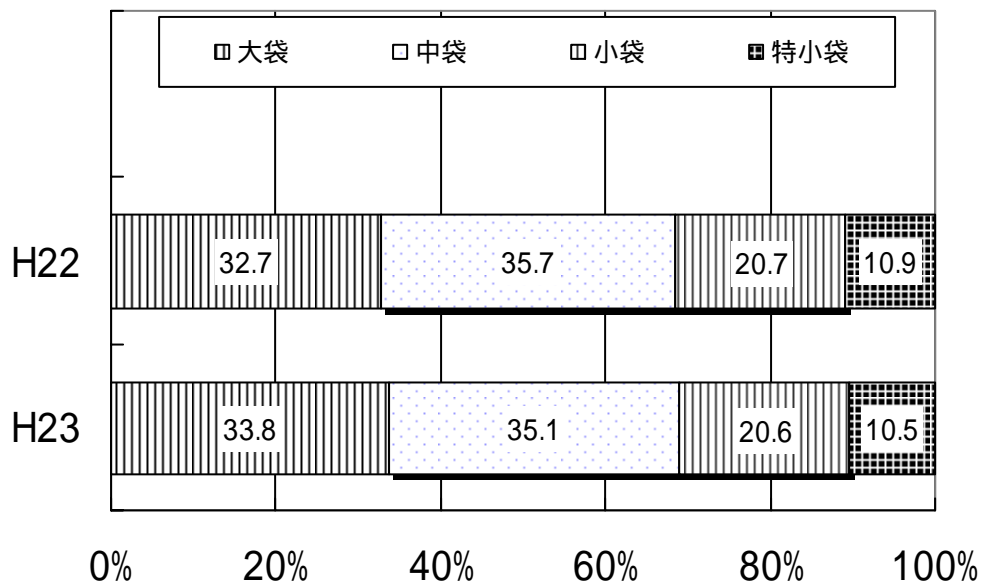
##### (1) 指定袋の使用割合（年度別）



これは、家庭ごみの指定袋の使用状況を年度別に表したグラフです。

毎年度、概ね正しい指定袋が使用されていることが分かります。指定袋を使用しないで出される割合は平成 21 年度以降ほとんど変わりませんでした。

##### (2) 指定袋のサイズの内訳



##### H22 調査指定袋数

10月

大	27,434袋
中	30,460袋
小	18,179袋
特小	9,914袋
合計	85,987袋

##### H23 調査指定袋数

10月

大	23,781袋
中	24,732袋
小	14,487袋
特小	7,401袋
合計	70,401袋

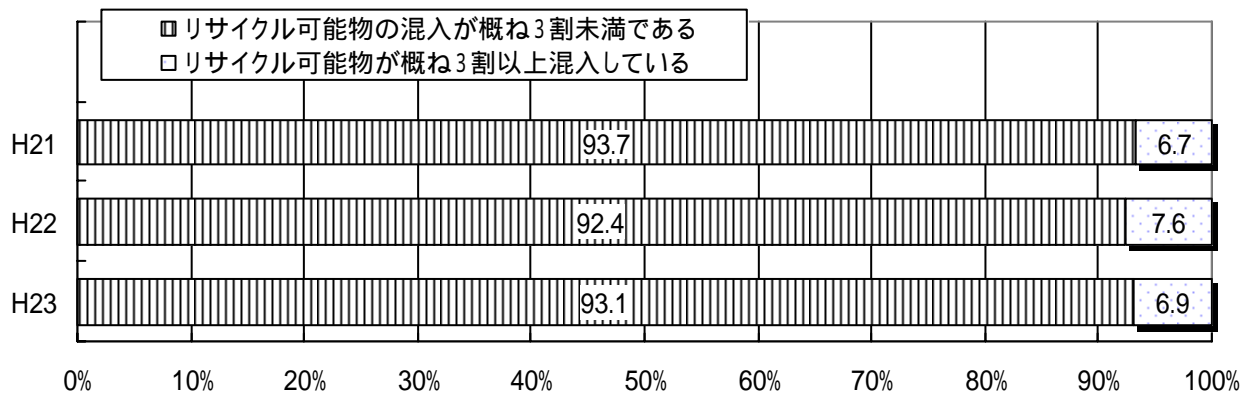
これは、正しく出された家庭ごみについて、指定袋のサイズごとの割合を表したグラフです。

平成 23 年度は多い順に「指定中袋」35.1%、「指定大袋」33.8%、「指定小袋」20.6%、「指定特小袋」10.5%となっています。

平成 22 年度と比較してこの割合の傾向はほとんど変わりませんでした。

一方で袋数を比較すると平成 22 年度 43.6 個/箇所に対し 23 年度は 51.2 個/箇所となっており、1 力所あたりの個数は増えています。

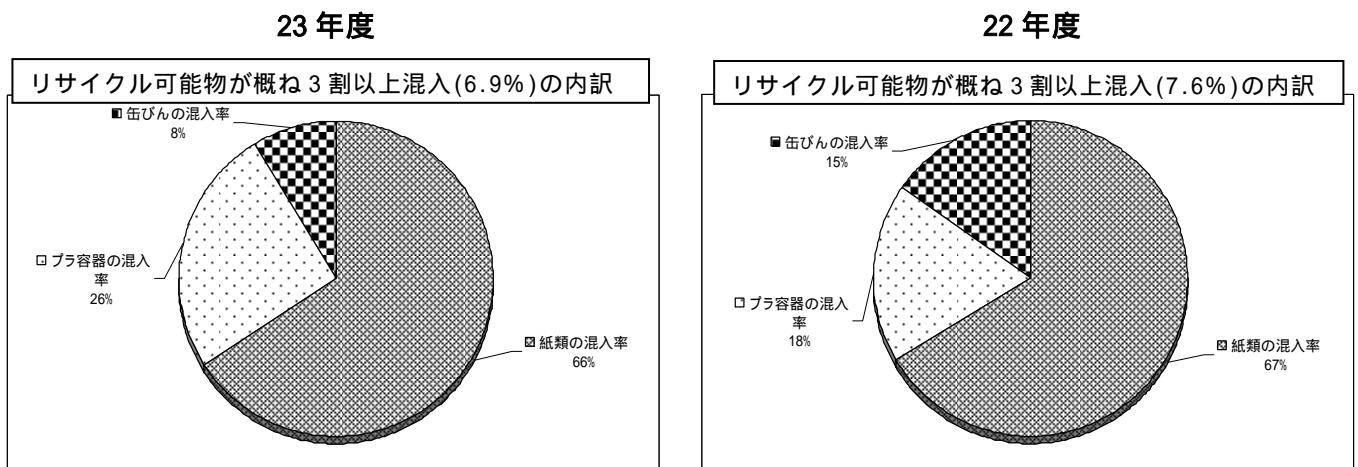
(3)リサイクル可能物の混入状況



これは、家庭ごみの中に、紙類・缶・びん等のリサイクル可能物が概ね3割以上混入している袋の割合を年度別に表したグラフです。

3割以上混入している袋は、平成21年度6.7%、平成22年度7.6%、平成23年度6.9%とほとんど変化しておりません。

(4)リサイクル可能物が概ね3割以上混入している袋中の混入物の内訳



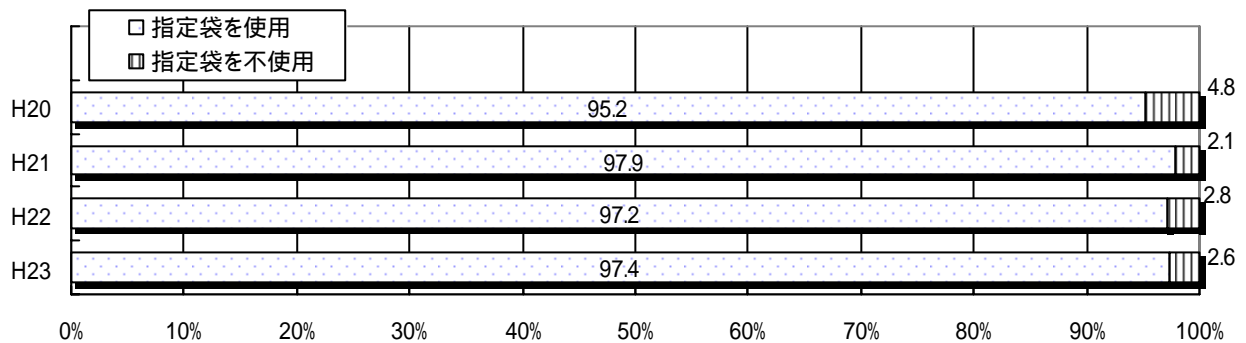
左の図は、(3)のリサイクル可能物が概ね3割以上混入している袋の混入物の平成23年度の内訳を表したグラフです。

紙類の混入が66%と一番多い結果となりました。平成22年度の紙類の混入率も67%と、ほとんど減っていないことが分かります。

今後、さらなるごみ減量を進めるにあたり、リサイクル可能な紙類の分別・リサイクルを徹底していく必要があります。

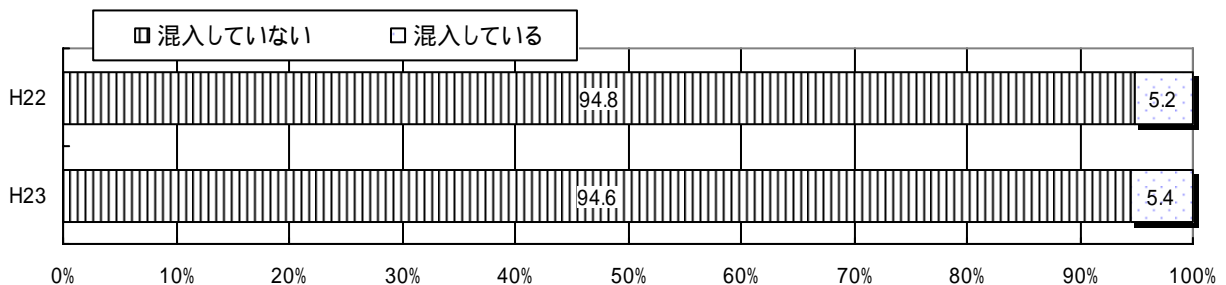
## 5 プラスチック製容器包装の排出状況

### (1) 指定袋の使用割合（年度別）



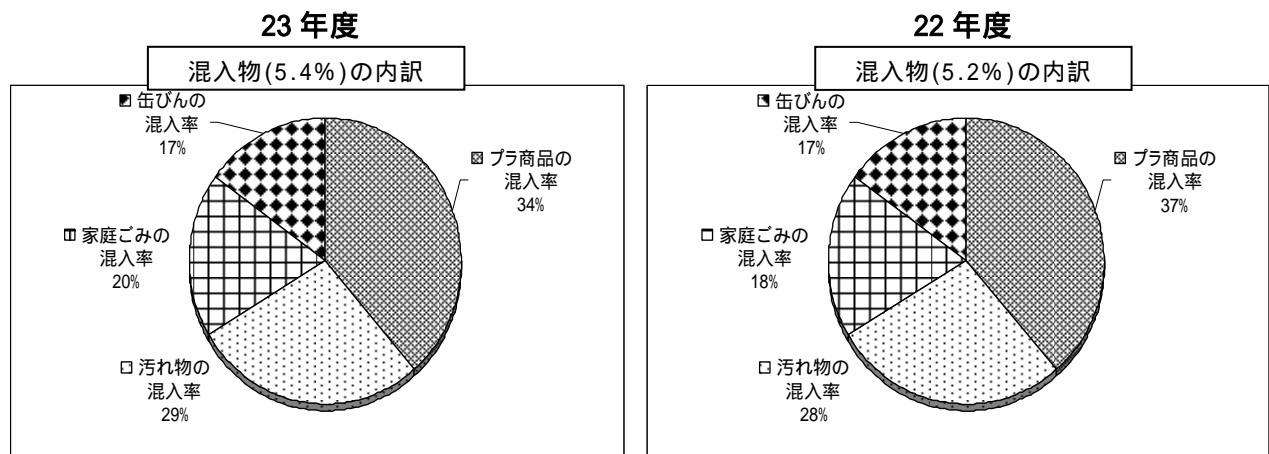
これは、プラスチック製容器包装の指定袋の使用状況を年度別に表示したグラフです。毎年度、概ね正しい指定袋が使用されていることがわかります。指定袋を使用しないで出される割合は平成 21 年度以降ほとんど変わりませんでした。

### (2) プラスチック製容器包装以外の物の混入状況



これは、プラスチック製容器包装以外の物の混入割合が概ね 2 割以上である袋の割合を表したグラフです。2 割以上混入している袋は、平成 22 年度 5.2%、平成 23 年度 5.4%とほとんど変化しておりません。

### (3) プラスチック製容器包装以外の物が概ね 2 割以上混入している袋中の混入物の内訳

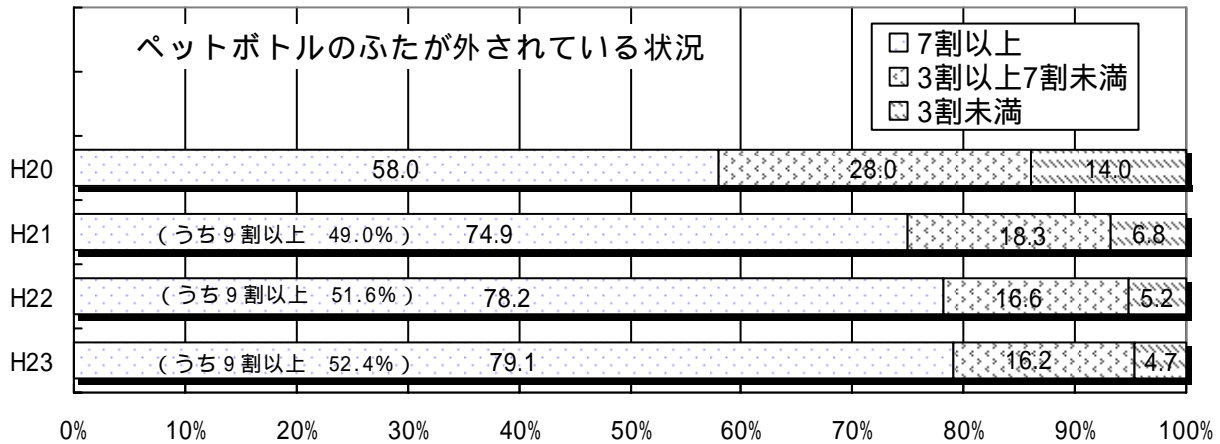


左の図は、プラスチック容器包装以外の物が概ね 2 割以上混入している袋 5.4% について、混入物の内訳を表したグラフです。プラ商品の混入が 34% と最も多く、プラスチック製容器包装とプラ商品を区別する目安となるプラマークの関心を高める必要があります。

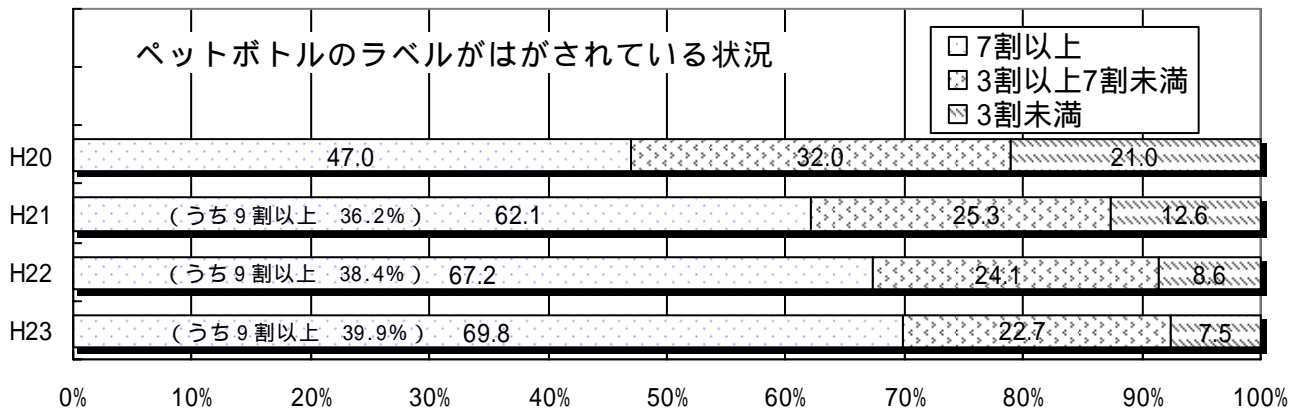
続いて汚れている物の混入が 29% となっており、プラスチック製容器包装であっても汚れている物はリサイクルできないことをさらに PR する必要があります。

なお、平成 22 年度はプラ商品の混入 37%、汚れている物の混入 28% でした。

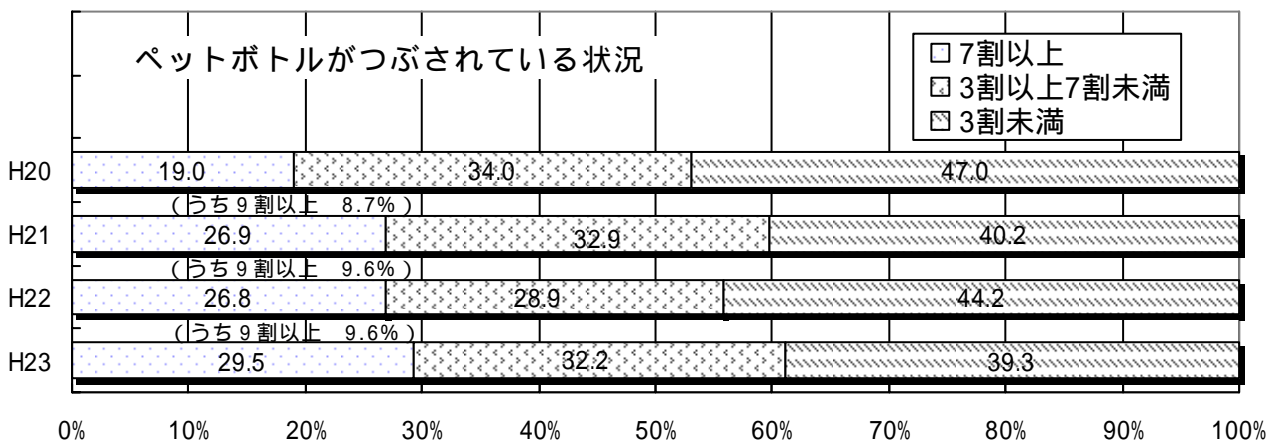
## 6 缶・びん・ペットボトルの排出状況



「7割以上」ふたが外されている集積所は年々増えているのが分かります。その中で9割以上ふたが外されている集積所（「うち9割以上」と表記）は年々増えており改善が着実に進んでいます。

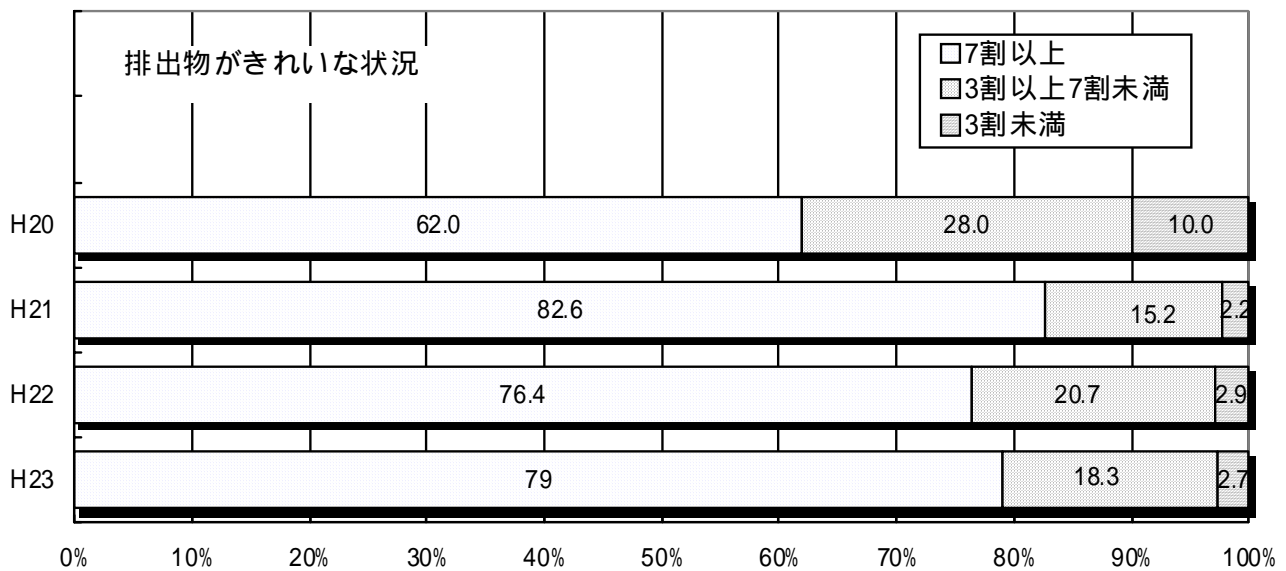


「7割以上」ラベルがはがされている集積所数は年々増えており、着実に改善されています。

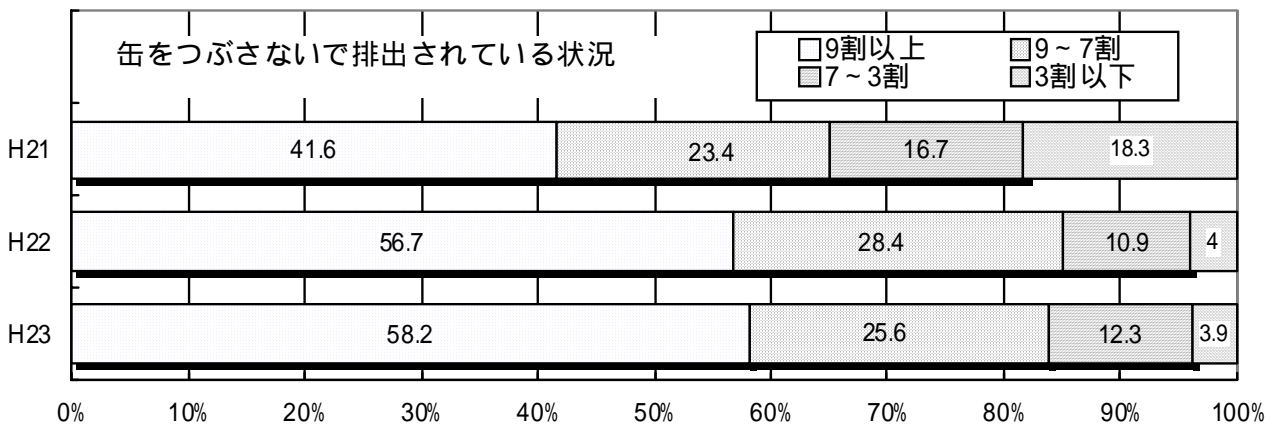


「7割以上」ペットボトルがつぶされている集積所数は増加傾向にあり、こちらも着実に改善が進んでいます。

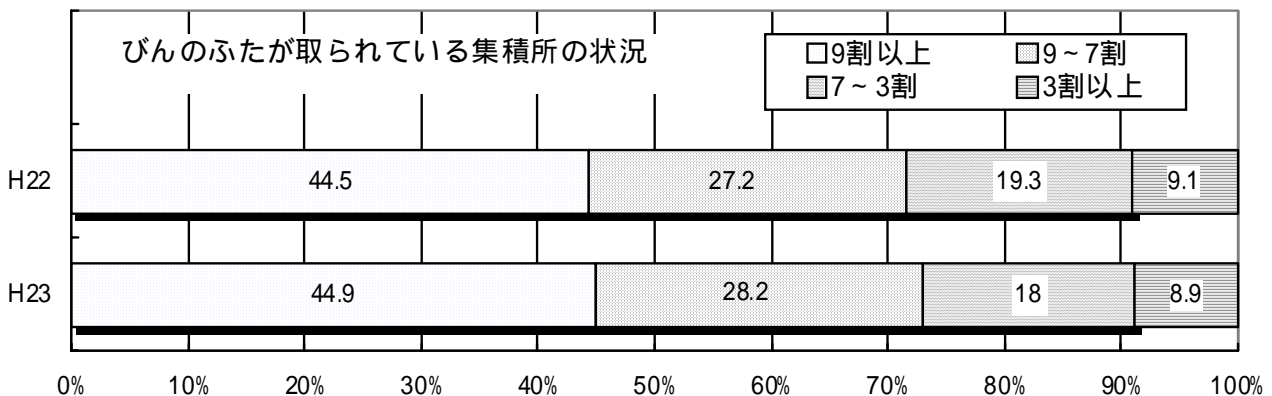




「7割以上」排出物がきれいな状況で出されている集積所数は約8割ありここ数年横ばい傾向となっています。

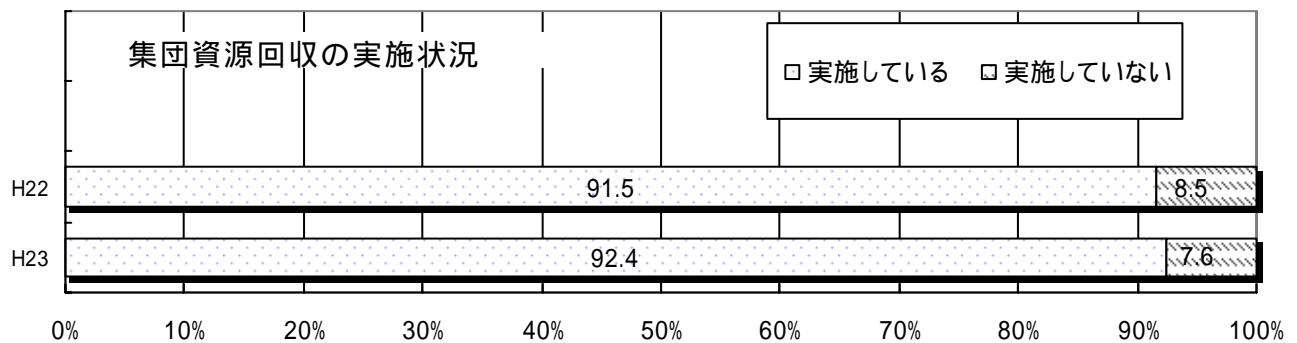
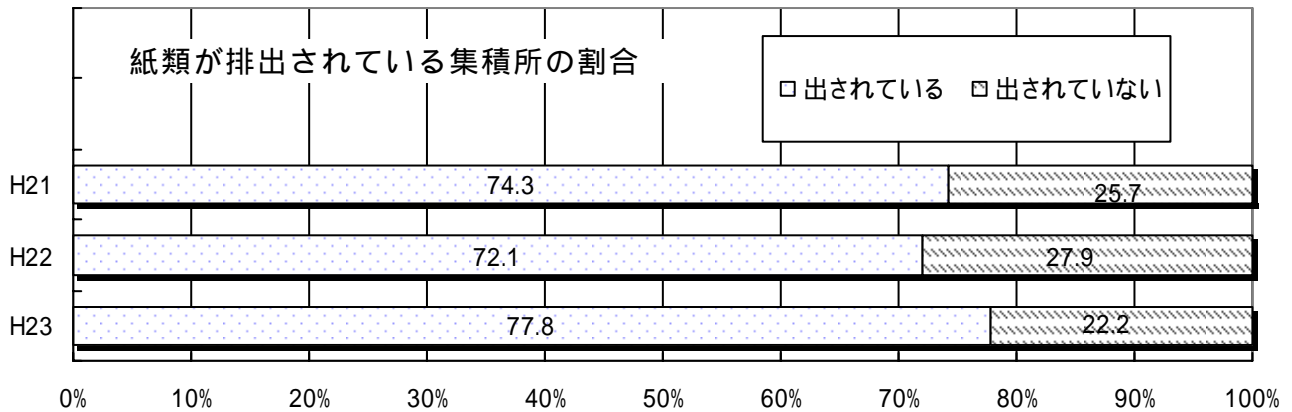


「9割以上」と「9割～7割」を合わせると約8割を超え昨年とほぼ同様の結果となりました。



これは平成22年度から実施してきた調査になります。「9割以上」と「9割～7割」を合わせると8割以上の集積所で実施されており、排出ルールの改善がみられます。

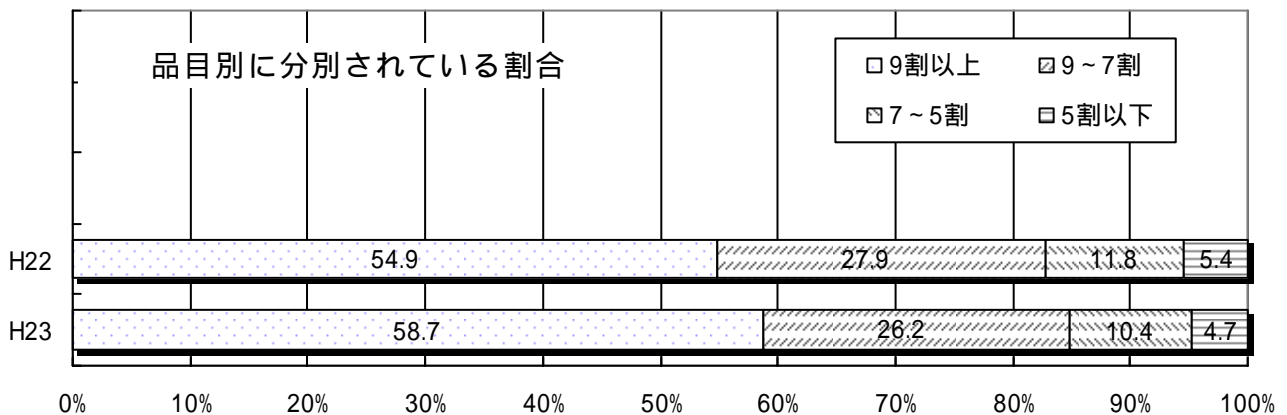
## 7 紙類の排出状況



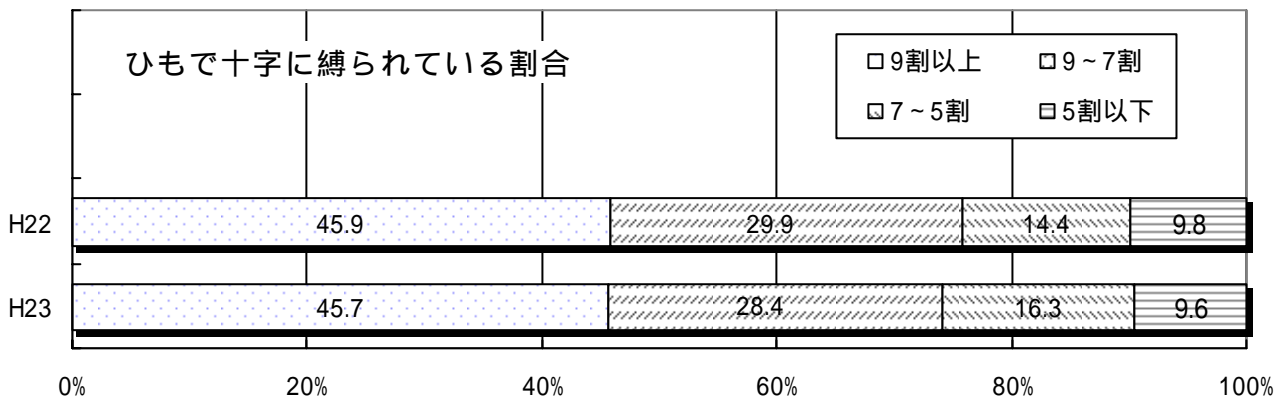
の「紙類が排出されている集積所の割合」については、約78%あり、昨年より約5%増加しています。

の「集団資源回収の実施状況」については、実施している地区の割合が昨年よりやや増えている結果となりました。

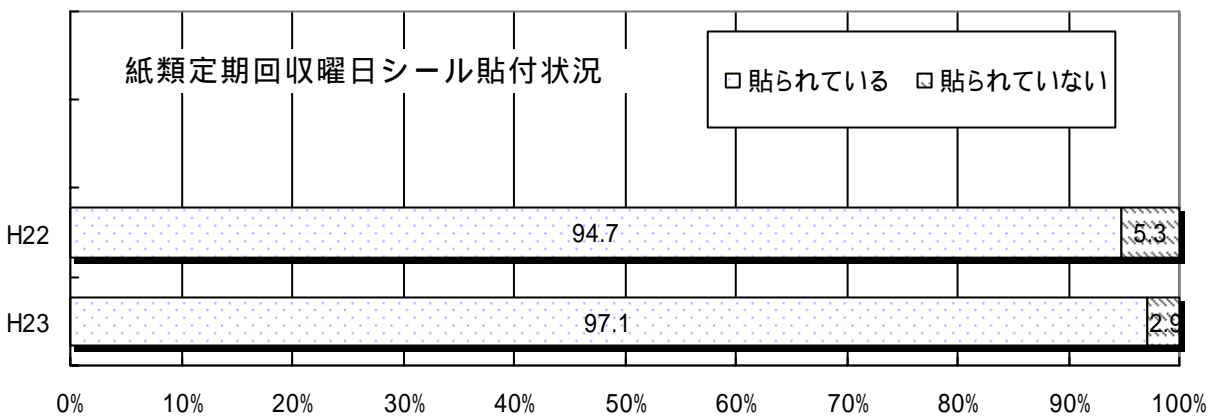
この調査の結果から、本市が進める紙類の分別・リサイクルへの協力が徐々に進んでいることが分かります。



「9割以上」と「9割から7割」を合わせて84.9%となっており、昨年同様きちんと分別して紙類が出されている集積所が多いことが分かります。



「9割以上」と「9割から7割」を合わせて7割を超え概ね良好な結果となりましたが、一方で「5割以下」も1割近くありました。ひもで縛らないと飛散につながり、それにより近所の方や通行人に迷惑をお掛けすることになりますので、一層のPRが必要です。



97%以上の集積所で紙類定期回収曜日シールが貼られていました。

紙類定期回収曜日シールの貼付は、地域の方々に紙類定期回収の収集曜日を周知するのに大変有効な手段です。ただし、シールですので風雨によりはがれることも予想されます。その際は、お住まいの区の環境事業所へご連絡をいただければ、新しいシールを配付いたします。

ごみ集積所排出実態調査票

調査 No. \_\_\_\_\_

町内会名 \_\_\_\_\_

推進員氏名 \_\_\_\_\_

推進員No. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - 1 -

調査記録者が申し込みされた推進員と違う場合は下記も記入をお願いします。

調査票記録者氏名 \_\_\_\_\_

調査対象の集積所の状況

1 どんな場所にありますか？

路上（交通量多い）      路上（交通量少ない）      歩道上      その他

2 どんな形状ですか？

工作物（ネット等鳥獣対策あり）      工作物（鳥獣対策なし）  
工作物なし（ネット等鳥獣対策あり）      工作物なし（鳥獣対策なし）

3 どのような方が利用していますか？

戸建住宅      共同住宅（家庭）      共同住宅（単身者）  
～ の混在

4 利用している世帯数は、どのくらいですか？

1～9世帯      10～19世帯      20～29世帯      30世帯～

5 集積所の状況について、感想や困っていることなどを記入してください。

調査が終わり次第、同封の返信用封筒にまとめて提出いただくよう、よろしく願いいたします。なお、封筒に入りきれない場合は、お住まいの地区の環境事業所にお問い合わせください。

ごみ集積所排出実態調査の説明書をご覧の上、補助票で積算していただき、積算結果を調査票に記入をお願いします。

## 家庭ごみの排出状況（1回目）

調査月日 月 日 ( ) 調査時間 : ~ : 天気

### 1 排出袋などの数を記入願います

正しい出し方 {  
・指定袋（大\_\_袋、中\_\_袋、小\_\_袋、特小\_\_袋）  
・ポリバケツを使用し指定袋で出している\_\_個

間違った出し方 {  
・旧指定袋（大\_\_袋、中\_\_袋、小\_\_袋）  
・レジ袋\_\_袋  
・新しいプラの指定袋\_\_袋 ・その他\_\_個

### 2 リサイクル可能な資源物の混入している袋の数（概ね3割以上混入）

{  
・紙類\_\_袋 ・プラスチック容器包装\_\_袋  
・缶、びん、ペットボトル\_\_袋

## 家庭ごみの排出状況（2回目）

調査月日 月 日 ( ) 調査時間 : ~ : 天気

### 1 排出袋などの数を記入願います

正しい出し方 {  
・指定袋（大\_\_袋、中\_\_袋、小\_\_袋、特小\_\_袋）  
・ポリバケツを使用し指定袋で出している\_\_個

間違った出し方 {  
・旧指定袋（大\_\_袋、中\_\_袋、小\_\_袋）  
・レジ袋\_\_袋  
・新しいプラの指定袋\_\_袋 ・その他\_\_個

### 2 リサイクル可能な資源物の混入している袋の数（概ね3割以上混入）

{  
・紙類\_\_袋 ・プラスチック容器包装\_\_袋  
・缶、びん、ペットボトル\_\_袋

## プラスチック製容器包装の排出状況

調査月日	月	日 ( )	調査時間	:	~	:	天気
<b>1 排出袋などの数を記入願います</b>							
正しい出し方		}	・指定袋 (大 ___ 袋、中 ___ 袋、小 ___ 袋)				
			・指定袋が貼ってある発泡スチロール ___ 個				
間違った出し方		}	・旧指定袋 (大 ___ 袋、中 ___ 袋、小 ___ 袋)				
			・レジ袋 ___ 袋				
			・新しい家庭ごみの指定袋 ___ 袋 ・その他 ___ 個				
<b>2 1のうち容器包装の対象以外の物が混入している袋の数(概ね2割以上混入)</b>							
		}	プラスチック商品 ___ 袋				
			汚れのひどい物 ___ 袋				
			上記以外の家庭ごみ ___ 袋				
			缶、びん、ペットボトル ___ 袋				

## 缶・びん・ペットボトルの排出状況

調査月日	月	日 ( )	調査時間	:	~	:	天気
<b>1 ペットボトルの排出状況</b>							
ペットボトルのフタがはずされていない (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
ペットボトルのラベルがはがされていない (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
ペットボトルがつぶされている (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
<b>2 缶の排出状況</b>							
缶がつぶされていない (原形のまま) (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
缶がつぶされている (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
缶はつぶさないで、資源箱に出すのが正しい。							
<b>3 びんの排出状況</b>							
びんのフタがはずされていない (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
<b>4 その他</b>							
缶・びん・ペットボトルはきれいな状態である							
(9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							

## 紙類定期回収の排出状況

調査月日	月	日 ( )	調査時間	:	~	:	天気
<b>1 収集日に紙類は出されていますか？</b> 出されている                      出されていない							
<b>2 品目別に（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑紙）きちんと分別されている割合はどのくらいですか？</b> 9割以上              9~7割              7~5割              5割以下							
<b>3 きちんとひもで十字にしばられている割合はどのくらいですか？</b> 9割以上              9~7割              7~5割              5割以下							
<b>4 集積所ステッカーに紙類収集曜日のシールは貼られていますか？</b> 貼られている              貼られていない 集積所ステッカー（収集曜日等）がはがれている場合は、お住まいの地区の環境事業所にご連絡ください。							

### (関連質問)

**問 あなたの地区では子ども会などで集団資源回収をしていますか？**  
行っている                      行っていない